

# 子どもの父親観

上嶋 正彦 (くもん子ども研究所)

## 1. はじめに

最近の親子関係を表現するのに「友達親子」という言葉がある。核家族化の浸透と、サラリーマン世帯の増大、経済的な豊かさの達成などの要因により、肯定的な文脈においては平等で対等な関係、否定的な文脈においてはけじめのない関係として規定されることが多いようだ。

こうした言説が生まれる背景には、父親をめぐる諸状況の変化とともに、子ども自身の家族に対するまなざしの変化があるのではないだろうか。

本調査は後者の視点から、小学校高学年から高校生を対象に、父親をどうとらえているのかを探るとともに、それが父親の意識と違いがあるかどうかについても検討する。

## 2. 手続き

調査員 50 名に、男女 24 名ずつを無作為に抽出し、調査を実施するよう依頼するとともに、全国紙の広告を通じて募った当研究所のモニター 828 名に依頼した (回収率 83.0%)。また、その父親に対しても質問の一部について回答を求めた。調査時期は 1996 年 9 月～10 月。調査項目は「食事時における父親との会話時間とその内容」「実際の父親像」「父親に望むこと」「父親への評価」などである。

<サンプル構成：人>

	男子	女子	合計
小学 4～6 年生	328	332	660
中学 1～3 年生	262	359	621
高校 1～3 年生	182	220	402
合計	772	911	1683

## 3. 結果

### ①父親との会話時間 (1日)

父親との1日の会話時間は「15分以下」が最も多く 32.4%となった。また「15～30分」が 28.2%、「31～45分」が 9.7%となり、45分以内の家庭があわせて 70.3%に達した。これは同時に尋ねた父親との夕食時間とほぼ同じ比率を示した。父親と子どもが会話するのは、夕食時のみである家庭が多いことをうかがわせる。

### ②子どもの父親像・父親の父親像

子どもから見た父親像と父親から見た父親 (自分) 像についての結果を図 1 に示した。

子どもから見た父親は「仕事熱心」(60.2%)で「物知りで教えてくれる」(56.9%)「家族にやさしい」(37.0%)存在である。

一方、父親自身の評価も 1 位は変わらないが、2 位に「家族にやさしい」(35.5%)、3 位に「子どもを自由にさせている」(33.0%)が入る。この「子どもを自由にさせている」という項目は子どもでは 19.2%に過ぎない。さらに「友達のように接する」についても、子どもが 13.4%、父親が 22.7%と、父親の自己評価が子どもを上回った。全 18 項目のうち、父親の比率が子どものそれを上回ったのはこの 2 項目のみであった。

子どもの学年層別に見た 1 人あたりの平均回答数は小学生 6.22、中学生 4.86、高校生 4.18 であり、学年が上がるほど、父親に対するイメージが希薄になることがわかる。

### ③子どもが望むこと・父親が望むこと

子どもが父親に望んでいることと、父親が子どもにしてあげたいことを図 2 に示した。

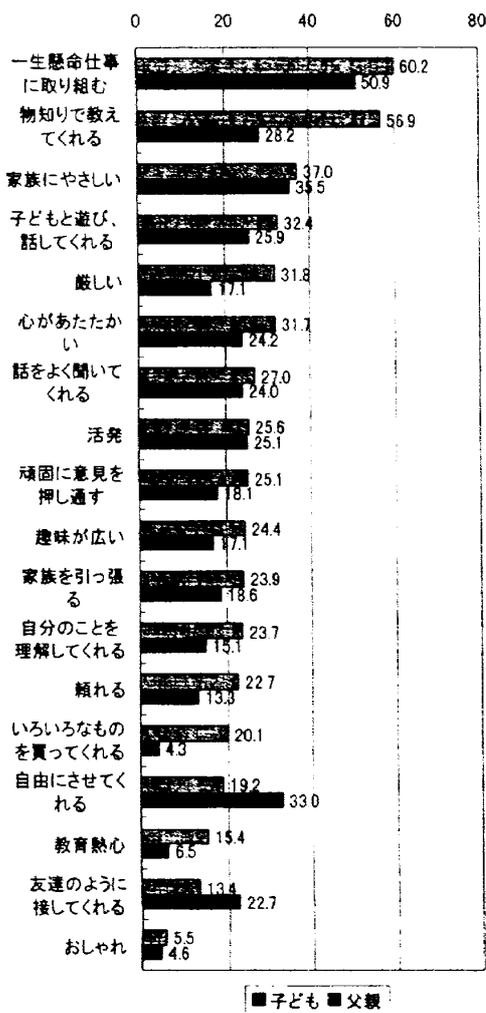


図1 子どもの父親像・父親の子ども像 (単位%)

子どもが父親に望んでいるのは、上から順に「欲しいものを買ってほしい」(43.6%)「休日にはどこかにつれて行ってほしい」(37.2%)「あまり口出ししないしてほしい」(32.7%)となっているのに対して、父親が子どもにしてあげたいと考えているのは「話しかけたらちゃんと答える」(45.3%)「世の中のことを話す」(44.3%)「いっしょに遊ぶ」(40.6%)であった。

小学生が高校生を20ポイント以上上回った項目は「早く家に帰って来てほしい」「一緒に遊んでほしい」「もっと家にいてほしい」などであった。中学生が最も高い割合を示した項目は「あまり口出ししないほしい」であった。高校生が最も高い割合を示した項目は「一人前の人間と認めしてほしい」であった。

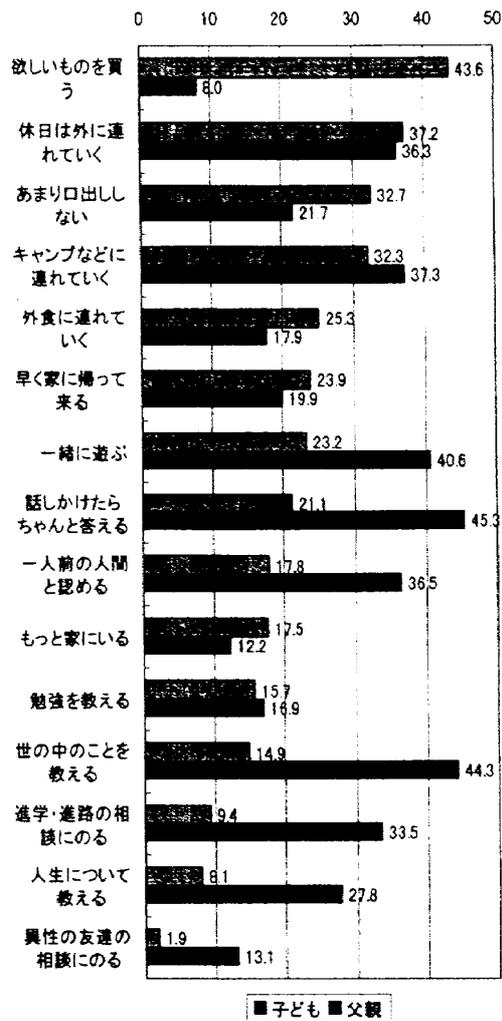


図2 子どもが望むこと・父親が望むこと (単位%)

#### 4. 考察

子どもたちの父親に対する満足度の高さなどを見ても、父親も子どももそれなりに満たされた関係を作りあげている、といえよう。

また、父親と子どもの結果をくらべた時、友達付き合いへの指向は、むしろ父親の方に強いように見える。父親が子どもと目の高さを同じくすることによって、いわゆる“民主的な”父子関係が維持されているのではないだろうか。

一方、父親はわが子に対して社会のことや人生について伝えたいという希望も強い。子どもの側にも理想の父親として「頼れる」父親を求める傾向があった。個人が矮小化されがちな現代の消費社会・情報社会の中で、新たなイメージによる“強い”父親が望まれているのではないだろうか。